

**Yamato**

## 防水形デジタル台はかり

**DP-6302ⅡWP / DP-6302ⅡDX**

### 取扱説明書



信頼・技術・創造  
**大和製衡株式会社**

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保存し、必要なときにお読みください。

# はじめに

この度は、防水形デジタル台はかり“DP-6302Ⅱシリーズ”をお買い上げいた  
だきまして、誠にありがとうございます。

この台はかりは、IP68の防水・防塵設計を採用したデジタル台はかりです。

工場・一般店頭でのご使用はもちろんのこと、鮮魚・青果関係・農家等の幅広  
い分野でお使いいただけます。また、作業者の用途に合わせた設定ができる「マ  
ルチファンクション機能（DP-6302Ⅱ WP）」や水産専用の「水引計算機能  
(DP-6302Ⅱ DX)」、その他「無線通信機能（オプション）」など画期的な機能を搭  
載しております。

この“DP-6302Ⅱシリーズ”をいつまでも最適な状態でお使いいただくため、  
この取扱説明書をよくお読みいただき、十分にご活用くださいますよう、お願ひ  
申し上げます。

## 目次

---

	ページ
1章 ご使用前にお読みください	
1-1. 安全に正しくお使いいただくために	1
1-2. 使用上の注意とお願ひ	3
1-3. このような機能があります	4
1-4. 製品の構成	5
1-5. 各部の名称	5
1-6. はかりの性能を維持させるために	6
2章 ご使用前の準備について	
2-1. 組み立て時の注意事項	7
2-2. 乾電池のセット及び交換方法、ACアダプタのセット方法	8
2-3. 設置場所について	9
2-4. 表示部及びキー操作部について	10
3章 基本操作について	
3-1. 計量のしかた	12
3-2. 零点リセットのしかた	12
3-3. 電源オフのしかた	12
3-4. 風袋引きのしかた	13
3-5. 風袋引きの取り消しかた	13
3-6. プリセット風袋引きのしかた	14
3-7. プリセット風袋引きの取り消しかた	14
4章 ユーザパラメータについて	
4-1. ユーザパラメータについて	15
4-2. ユーザパラメータの設定のしかた	15
4-3. ユーザパラメータ表	16

# 目 次

---

	ページ
5章 加算機能について (DP-6302Ⅱ WPのみ)	
5-1. 加算のしかた .....	19
5-2. 加算に関するユーザパラメータ .....	19
5-3. 加算の取り消しかた .....	20
5-4. 加算した合計質量と加算回数の確認のしかた .....	20
5-5. 合計質量・合計回数のリセットのしかた .....	20
6章 マルチファンクション機能について (DP-6302Ⅱ WPのみ)	
6-1. マルチファンクション機能について	
I. チェッカ機能 .....	21
II. ランク選別機能 .....	21
III. 定量計量機能 .....	22
IV. 配合計量機能 .....	22
7章 マルチファンクション機能の使いかた (DP-6302Ⅱ WPのみ)	
7-1. マルチファンクション機能の選択方法 .....	23
7-2. マルチファンクション機能に関するユーザパラメータ .....	23
7-3. マルチファンクション機能の使いかた	
I. チェッカ機能 .....	24
II. ランク選別機能 .....	26
III. 定量計量機能 .....	28
IV. 配合計量機能 .....	30
7-4. マルチファンクション機能から質量表示に戻す場合 .....	32
8章 表示固定機能について (DP-6302Ⅱ DXのみ)	
8-1. 表示固定のしかた .....	33
8-2. 表示固定の取り消しかた .....	33
9章 水引計算機能について (DP-6302Ⅱ DXのみ)	
9-1. 水引率の設定のしかた .....	34
10章 取引証明以外用について	
10-1 取引証明以外用 .....	35
10-2. 取引証明以外用のユーザパラメータについて .....	35
10-3. 使用地域別の重力加速度補正について .....	35
10-4. 分銅校正方法について .....	38
11章 その他	
11-1. 表示エラーについて	
(1) 主なエラーメッセージについて .....	39
(2) エラーコード一覧表 .....	40
11-2. オプション機能について .....	41
11-3. 仕様書 .....	42
11-4. 外観寸法図 .....	44

## 1. ご使用前にお読みください

### 1-1. 安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この「安全に正しくお使いいただくために」は、安全にお使いいただき、ご使用される方や他の方々への危害や財産の損害を防止するためのものです。

また、本取扱説明書は大切に保管してください。

- 表示と意味については次のように定義しています。



：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受けたりする恐れがある内容を示しています。



：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



：してはいけないことを表しています。



：しなければならないことを表しています。

- この製品のご使用前に、以下の“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。



：感電事故を避けるために

ACアダプタのコードは、足、運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。  
ACアダプタの抜き差しは、ACアダプタ本体の樹脂部を持って確実に行ってください。



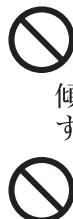
防爆機能を備えておりません。  
可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。



万一煙が出ている、異臭がする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いてください。  
煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



## 警告



：不安定な場所で使用しない。

傾いていると、転倒して思わぬ事故になる恐れがあります。台の上に置いて使用する場合は、特に安全を確認して使用してください。



：計量部カバーを持って持ち上げない。

計量部カバーが外れ、はかりが人の足の上等に落下し、負傷する恐れがあります。



：はかりの隙間、穴等に指を入れない。

ケガ、故障の原因になります。



：破損した表示内部から出た液体を口に入れない。

毒性があるので、あやまって口に入れないよう、特にご注意ください。



## 注意



：指定以外の電池を使用しない。

電池の破裂・液もれにより、火災、ケガ、汚損の原因になります。



：電池を火や水の中に入れたり、加熱したりしない。

破裂する可能性があります。



：電池の極性は指示通りに装着してください。

液漏れ、破裂する可能性があります。



：電池をなめたり口に入れない。

電池を小さなお子様の手の届くところに置かないでください。



：電池が切れたまま放置しない。

電池が液もれして、内部が腐食する場合があります。



：はかりを落とさない

故障の原因になります。



：はかりの分解・改造をしない。

分解・改造をしないでください。取引証明用として使用できなくなるばかりでなく、以後のサービスを受けられなくなる場合があります。



：ロードセルに直接アルコールや次亜塩素酸ナトリウムなどの薬品を噴霧しない。

計量不良の原因になります。

# 1-2. 使用上の注意とお願い

## ●故障の原因

- (1) 表示部、キー部を爪、先の尖った物で押さないでください。
- (2) はかりの持ち運びや移動の際は、必ずはかり底面を両手で持って持ち上げてください。
- (3) 過度の衝撃や振動を与えないでください。
- (4) はかりの上に物を落としたり、飛び乗ったり、はかりを落下させたりしないでください。
- (5) シンナー・ベンジン等では拭かないでください。
- (6) 一切の分解、改造はしないでください。内部部品で手等を負傷する危険があります。

## ●計量不良の原因

- (1) 火気・蒸気の近く、直射日光や冷暖房機の風が当たる場所で使用しないでください。
- (2) 過度の衝撃や振動及び強い電磁波が発生する機器類（電子レンジ・携帯電話機等）の近くでは使用しないでください。
- (3) 荷重に充分耐えられる水平で安定した場所で使用してください。
- (4) 指定の使用環境にて使用してください。（使用環境-10°C～+40°C, 30%RH～85%RH）  
尚、指定の環境範囲内であっても、下記のように結露が発生する状況下では計量不良が起こる場合があります。
  - 1) 高湿度の環境下で長時間使用又は保存されたとき。
  - 2) 湿度が低くても急激な温度変化を与えたとき。（冷水などをはかりにかける。）
  - 3) はかりに冷蔵庫等の冷気、又は湯気、水蒸気などがかかる雰囲気で使用したとき。
- (5) ロードセルに直接アルコールや次亜塩素酸ナトリウムなどの薬品を噴霧しないでください。

## ●電池について

- (1) アルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。混ぜて使うと、液もれや破裂の原因になります。
- (2) 電池切れサイン（BAT）が表示されたら速やかに乾電池を取り替えてください。  
電池交換は、4本全て新しい電池に交換してください。古い乾電池が混じると液もれしたり、極端に電池の寿命が短くなったりします。
- (3) 乾電池の交換の際は、極性（+、-）を表示の通りに装着してください。間違った場合は故障の原因になります。
- (4) 長期間（約1ヶ月以上）使用しない場合は、乾電池をはかりから取り外してください。乾電池が液もれし、はかり内部が腐食する場合があります。
- (5) ACアダプタ使用時は、必ず乾電池をはかりから取り外してください。乾電池との併用は絶対しないでください。

## 保管・廃棄について

### ●保管場所について

- (1) 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管はさけてください。  
また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
- (2) はかりは精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管はさけてください。

### ●廃棄について

- (1) はかりを廃棄する場合  
はかりは、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。  
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。
- (2) 使用済み乾電池を廃棄する場合  
使用済み乾電池は電極にセロファンテープを貼り（ショートすると危険なため）、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

### 始業時点検のお願い

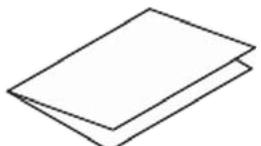
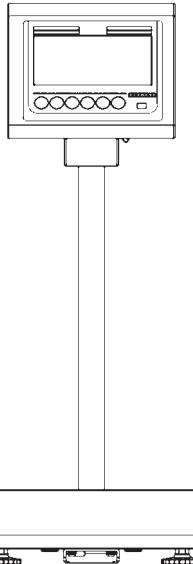
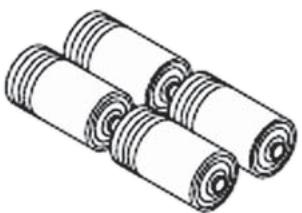
計量法では、適正な計量の実施を求められており、始業時の点検、質量チェックを実施してください。

## 1-3. このような機能があります

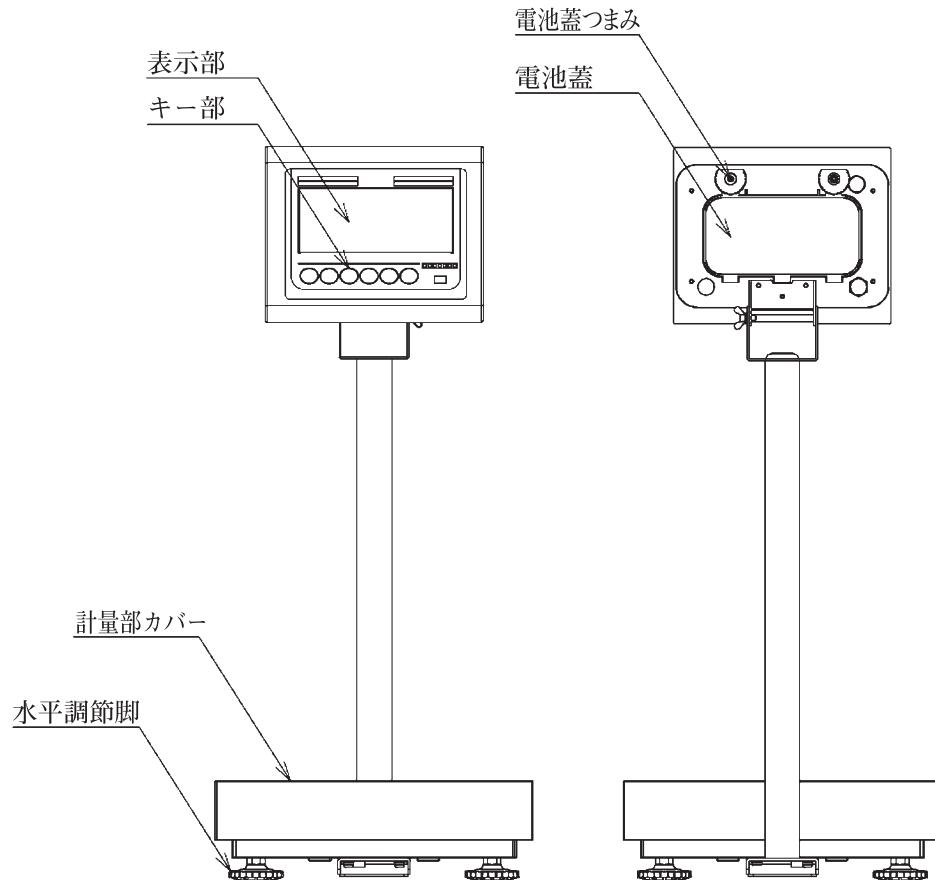
DP-6302 II シリーズには、下記のような機能があります。作業の目的に応じてお役立てください。

目的	方法
<b>【オートオフ】</b> はかりの電源を自動的にオフさせたい (乾電池使用時のみ)	出荷時設定は15分です。 ユーザパラメータ設定により変更できます。
<b>【風袋引き】</b> 計量物または容器の質量を0表示させたい	風袋キーを使ってワンタッチで風袋引きができます。
<b>【プリセット風袋引き機能】</b> 特定の質量にて風袋引きを行いたい	風袋キーと設定キーを同時に押すと、風袋値を入力することができます。
<b>【加算機能】※DP-6302 II WPのみ</b> 計量した質量の合計値が知りたい	加算キーを使って、もしくは自動的に質量値を加算していくことができます。 質量値の合計値と加算回数が確認できます。
<b>【チェック機能】※DP-6302 II WPのみ</b> 目標質量に対して適量であるか確認したい	現在の質量が目標値に対して適量であるか、瞬時に把握できます。最大7品種の上下限登録ができます。
<b>【ランク選別機能】※DP-6302 II WPのみ</b> 計量物をより効率よくランク選別したい ※この機能は取引証明にはご使用できません。	加算式のランク選別ができます。15ランクの設定で最大7品種のデータ登録ができます。
<b>【定量計量機能】※DP-6302 II WPのみ</b> パック詰め作業の歩留まり率を向上させたい ※この機能は取引証明にはご使用できません。	過不足量を表示しますので、歩留まりの向上に役立ちます。最大7品種のデータ登録ができます。
<b>【配合計量機能】※DP-6302 II WPのみ</b> 何種類かの材料を配合したい ※この機能は取引証明にはご使用できません。	各材料の質量値を登録することで、簡単に配合品を作ることができます。15材料の設定で最大7品種のデータ登録ができます。
<b>【表示固定機能】※DP-6302 II DXのみ</b> 計量した質量値を固定させたい ※この機能は取引証明にはご使用できません。	はかりが安定すると表示値を固定し、品物を降ろすと固定を解除します。
<b>【水引計算機能】※DP-6302 II DXのみ</b> 計量した魚の水分補正を行いたい	水引率を設定することで、水引後の質量値を表示することができます。

## 1-4. 製品の構成

付 属 品	はかり本体	オプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>●取扱説明書、保証書</li> </ul> 		 <ul style="list-style-type: none"> <li>●ACアダプタ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●乾電池</li> </ul> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ACアダプタ用電池蓋</li> </ul> 

## 1-5. 各部の名称



## 1-6. はかりの性能を維持させるために

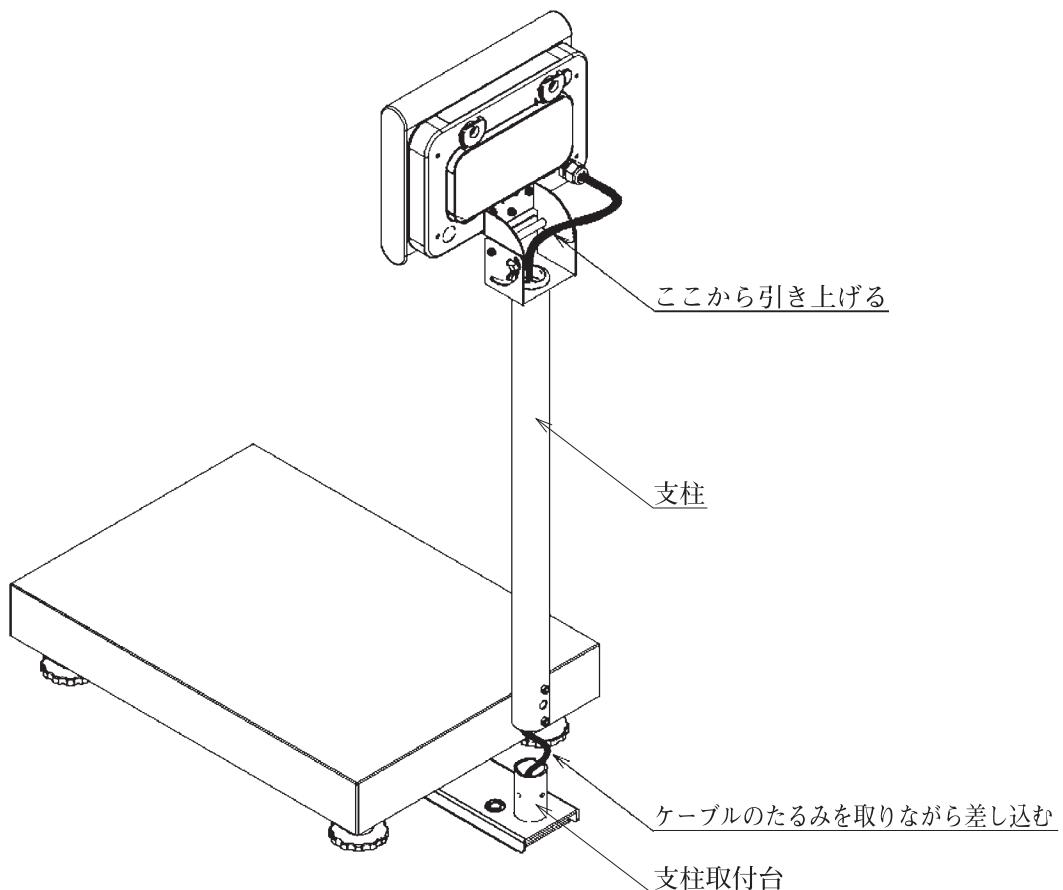
- 計量部カバーを洗浄する場合は、きれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。海水、汚れた水、不純物の入った水を使用すると故障の原因になります。
- はかり全体の汚れを落とす場合は、柔らかい布を使用してください。  
たわしやブラシなどは使用しないでください。
- 中性洗剤で洗浄される場合は、中性洗剤をスポンジに含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。
- はかり全体をアルコール消毒する場合は、アルコール濃度80%以下の溶液を布に含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。  
表示部はきれいな水で洗ってください。
- 分解や改造は絶対にしないでください。防水性を損なう原因になります。  
万一、誤って分解したときは、必ずご購入された販売店まで連絡願います。
- はかりを落としたり、テーブルなどの固いものに当てたりしないでください。
- 砂、ほこり、ゴミの多いところで電池蓋を開閉しないでください。  
パッキンに異物が付着すると、防水性を損なう原因になることがあります。
- 乾電池交換後、電池蓋は確実に締めてください（乾電池交換方法参照）。
- 表示部、スイッチ部、ゴム部を爪や尖った物で押さないでください。
- ご使用後は、はかりを乾燥した温度変化の少ない場所に保管してください。

## 2. ご使用前の準備について

### 2-1. 組み立て時の注意事項

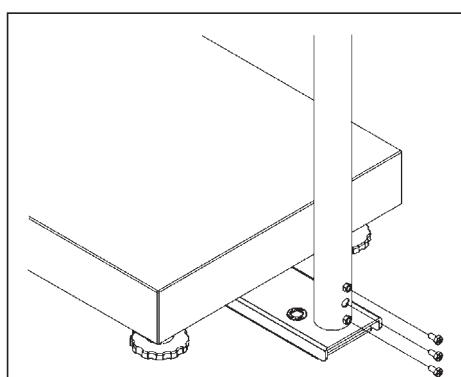
#### 注意事項

支柱を支柱取付台に差し込む時、支柱上部からケーブルを引き上げて支柱差し込み部分のケーブルのたるみを取り、ケーブルを傷つけなように注意しながら差し込んでください。



#### 組み立て手順

1. 支柱を支柱取付台に差し込んでください。
2. 中央のネジを支柱の抜け止め穴に合わせて締め込んでください。
3. 両端のネジを締め込んで支柱を固定してください。



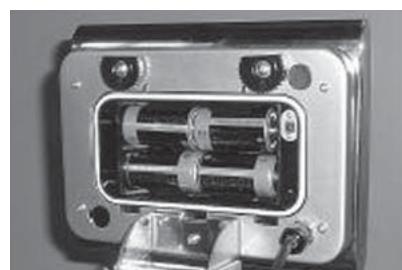
## 2-2. 乾電池のセット及び交換方法、ACアダプタのセット方法

### 乾電池

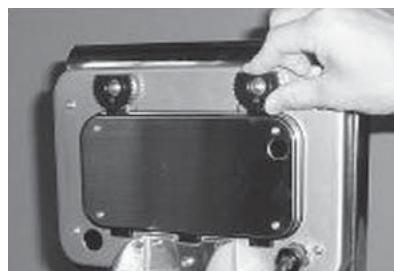
- ①指示計後部の電池蓋を固定しているツマミ（2ヶ所）を反時計方向に180°回してゆるめ、電池蓋を取り外してください。  
電池蓋周辺に水滴などが付いている場合は、拭き取ってください。



- ②単1乾電池4本を電池ボックスに入れてください。  
交換の際は4本すべて新しいものと交換してください。使用中のものが混ざると液漏れや電池寿命低下の原因となります。  
性能の異なる乾電池（マンガン電池とアルカリ電池）を一緒に使用しないでください。



- ③電池蓋を元通り取り付けて、電池蓋を固定しているツマミ（2ヶ所）を時計方向に180°回して閉めてください。  
長期間使用しない場合やACアダプタを使用する場合は、液漏れ防止のため乾電池を取り出してください。



## ACアダプタ



ACアダプタは必ず専用のものを使用してください。異なるものを使用されると、故障の原因になります。  
乾電池との併用はできませんので、必ず全ての乾電池を取り外してからご使用ください。  
ACアダプタ用電池蓋を取り付け、電池蓋に空いた丸い穴にACアダプタのプラグをしっかりと差し込んでください。

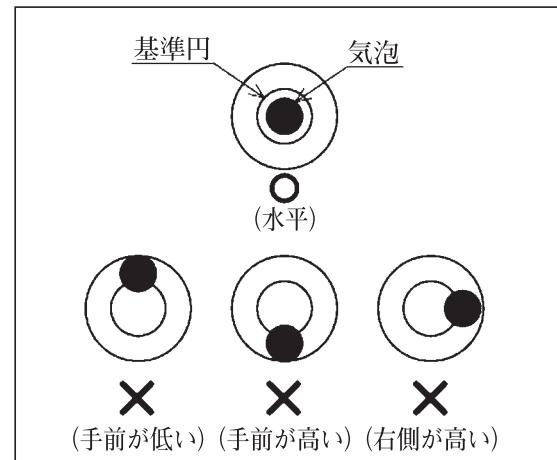
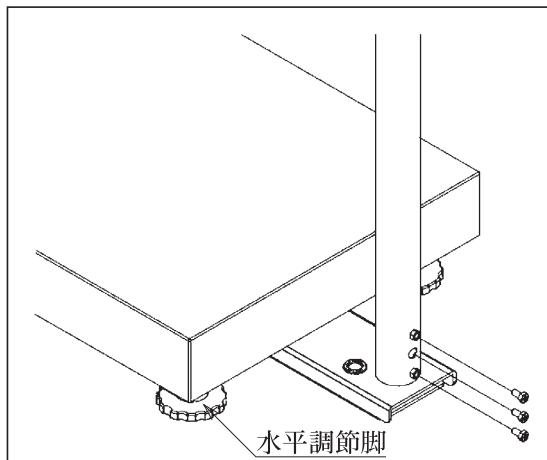
※注意) ACアダプタを使用すると非防水となります。

## 2-3. 設置場所について

はかりを使用するときは、必ず水平に設置してください。水平でないと、正しい計量ができません。また、がたつきがあっても正しい計量ができません。

※注意) はかりは傾いた床に置かないでください（水平調整できる範囲を超える場合）。

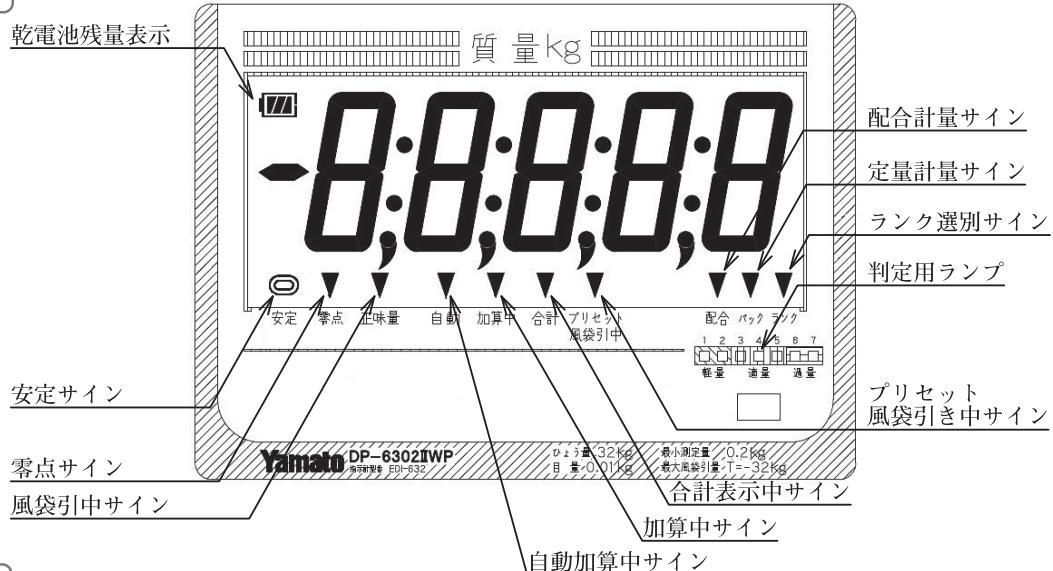
はかり本体底面には、水平を調節するための水平調節脚があります。なるべく平らな場所で水平器の気泡が基準円の中心に来るよう、水平調節脚を回して調節してください。また、水平調節脚が浮かないように調整してください（右に回すとはかりは下がり、左に回すとはかりは上がります）。



## 2-4. 表示部及びキー操作部について

### (1) DP-6302 II WP

#### 表示部



#### キ一部

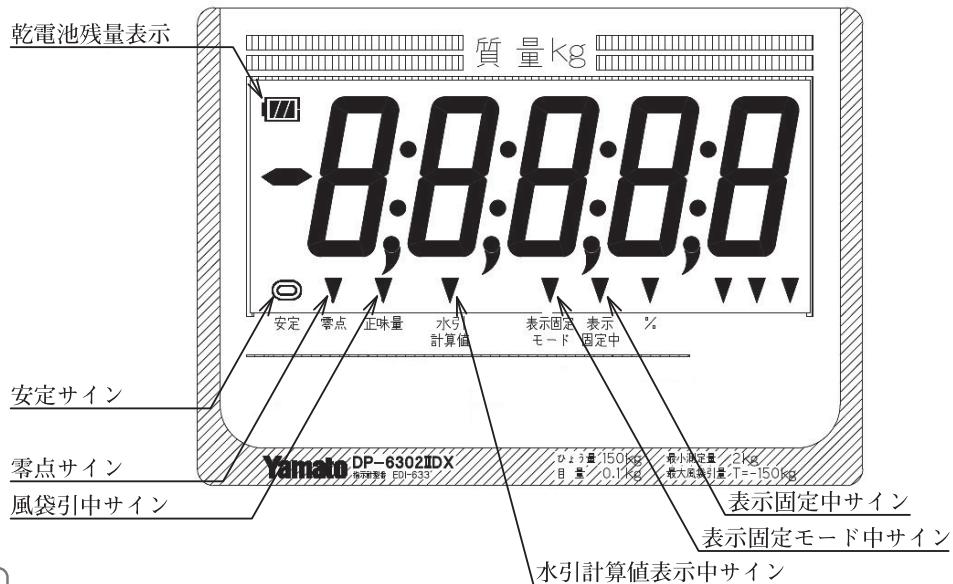
	<u>電源ON/OFFキー</u> 電源を入れるとき、押すと電源がONします。 電源を切るときは、電源が切れるまで押し続けます。
	<u>零点リセットキー</u> 計量前、零点がずれているとき、押すと零点をリセットします。
	<u>設定キー</u> マルチファンクション機能を使用したいとき、押すとマルチファンクションモードへ入ります。また各種設定した数値を決定する際に使用します。
	<u>風袋引きキー／桁送りキー</u> 計量物を入れる容器の質量を0にしたいとき、押すと風袋引きします。 また各種設定値入力の際の桁送りに使用します。
	<u>合計表示キー／デクリメントキー</u> 加算中に合計質量を確認したいとき、押すと合計質量が表示されます。 また各種設定値入力の際のデクリメント操作（入力値-1）に使用します。
	<u>手動加算キー／インクリメントキー</u> 質量値を手動で加算したいとき、押すと質量値が加算されます。 また各種設定値入力の際のインクリメント操作（入力値+1）に使用します。

(多重押し)

	<u>プリセット風袋引き</u> 風袋引きキーと設定キーを同時に押すとプリセット風袋値の設定モードに入り、 プリセット風袋引き機能を使用することができます。
	<u>ユーザパラメータモード</u> 零点キーと設定キーを同時に押すとユーザパラメータモードに入り、各種ユーザ パラメータの設定を行うことができます。

## (2) DP-6302 II DX

### 表示部



### キ一部

	<b>電源ON/OFFキー</b> 電源を入れるとき、押すと電源がONします。 電源を切るときは、電源が切れるまで押し続けます。
	<b>風袋引きキー／桁送りキー</b> 計量物を入れる容器の質量を0にしたいとき、押すと風袋引きします。
	<b>設定キー</b> 水引機能を使用したいとき、押すと水引計算した値が表示されます。 また各種設定した数値を決定する際に使用します。
	<b>水引キー／桁送りキー</b> 水引率を設定したいとき、押すと水引率を設定することができます。 また各種設定値入力の際の桁送りに使用します。
	<b>表示固定キー／デクリメントキー</b> 質量値を固定したいとき、押すと表示固定します。 また各種設定値入力の際のデクリメント操作（入力値-1）に使用します。
	<b>零点リセットキー／インクリメントキー</b> 計量前、零点がずれているとき、押すと零点をリセットします。 また各種設定値入力の際のインクリメント操作（入力値+1）に使用します。

(多重押し)

	<b>プリセット風袋引き</b> 風袋引きキーと設定キーを同時に押すとプリセット風袋値の設定モードに入り、 プリセット風袋引き機能を使用することができます。
	<b>ユーザパラメータモード</b> 零点キーと設定キーを同時に押すとユーザパラメータモードに入り、各種ユーザ パラメータの設定を行うことができます。

### 3. 基本操作について

#### 3-1. 計量のしかた

〈例〉 電源ONして、25kgの計量物を計量する場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>(ON/OFF) を押してください。</p> <p>全ての表示が点灯し、判定用ランプが点灯した後に、0を表示します。</p>	
②	<p>表示が0であることを確認してから、はかりに計量物を載せてください。</p> <p>計量物の質量（25kg）を表示し、はかりが安定すると安定サインが点灯します。</p>	

#### 3-2. 零点リセットのしかた

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>(零点リセット) を押してください。</p> <p>零点をリセットし、0を表示します。</p>	 

#### 3-3. 電源オフのしかた

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>電源が切れるまで (ON/OFF) を押し続けてください。</p> <p>電源がオフします。</p>	

### 3-4. 風袋引きのしかた

《例》2kgの容器を風袋引き後、15kgの計量物を計量する場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	容器をはかりに載せてください。 表示部には容器の質量（2kg）を表示します。	
②	安定サインが点灯したら  を押します。 正味量サインが点灯し、0を表示します。	
③	計量物を載せてください。 容器の質量を差し引いた計量物の正味量（15kg） が表示されます。	

### 3-5. 風袋引きの取り消しかた

《例》2kgの容器を取り除き、風袋引きを取り消す場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	はかりから容器を取り除いてください。 容器の質量（2kg）をマイナス表示します。	
②	を押してください。 正味量サインが消灯し、0を表示します。	

### 3-6. プリセット風袋引きのしかた

《例》1.5kgの風袋値を設定し、15kgの計量物を計量する場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>設定 を押しながら 風袋 を押してください。</p> <p>プリセット風袋引きを示す「PTArE」が表示され、すぐに設定値入力画面が表示されます。</p>	
②	<p>風袋値を「1. 50」に設定してください。</p> <p>風袋 : 設定風袋値の桁を左へ移動します</p> <p>+ : 設定風袋値を「+1」します</p> <p>- : 設定風袋値を「-1」します</p> <p>風袋値設定後 設定 を押してください。</p> <p>※最小桁は目量単位で数値が切り替わります。</p>	
③	<p>設定完了後、入力した風袋値分がマイナス表示され、風袋量1.5kgを引いた状態での計量が可能となります。</p> <p>※プリセット風袋引中を示す「▼」サインが点灯します。</p>	
④	<p>例) 1.5kgの風袋値を設定して同量の風袋物を載せ、13.5kgの計量物を載せた場合、13.5kgと表示されます。</p>	

### 3-7. プリセット風袋引きの取り消しかた

《例》1.5kgの風袋値を取り消す場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>はかりから計量物を取り除いてください。</p> <p>風袋量分 (1.5kg) をマイナス表示します。</p> <p>※はかりに何も載ってない状態でないと、風袋量の取り消しはできません。</p>	
②	<p>風袋 を押してください。</p> <p>プリセット風袋引き中サインが消灯し、0を表示します。</p>	

## 4. ユーザパラメータについて

### 4-1. ユーザパラメータについて

DP-6302 II シリーズには、ユーザパラメータがあり、使用環境に応じて最適な動作をするように設定変更できます。下記のユーザパラメータ表をよくご覧になり、設定してください。

### 4-2. ユーザパラメータの設定のしかた

《例》 #02の自動電源オフを解除する場合

	操作説明	表示内容
①	零点表示中に  と  を同時に押してパラメータモードのタイトル画面を呼び出します。 タイトル画面が表示されましたら、  を押してください。	
②	パラメータ番号と設定値が表示されます。 画面の構成は右図のとおりです。 パラメータ番号が点滅している場合は  と  でパラメータ番号を変更することができます。	
③	と  でパラメータ番号を「02」に合わせ、  を押してください。 設定値が点滅し、設定値を変更することができます。	
④	設定値が点滅している場合は、  と  で設定値を変更することができます。 で設定値を「00」にしてください。 ※  を押すと、設定値をゼロにすることができます。	
⑤	設定値入力後、  を押してください。 設定値変更が完了し、次のパラメータ番号に進みます。	
⑥	設定変更が終わったら、  を押し続けて電源を切ってください。以上で、設定変更が完了となります。	

#### 4-3. ユーザパラメータ表

番号	名 称	出荷時設定	設定値：機能説明
01	加算(送信)時の"SEnd"表示 (DP-6302IIWP用パラメータ)	1	0："SEnd"表示をしない 1~8：加算(送信)時に設定値(秒)の間"SEnd"を表示する
02	自動電源オフ(オートオフ機能)	15	0~60(分)：設定した時、計量しなかったら電源をオフする
03	判別ブザー音 (DP-6302IIWP用パラメータ)	0	0：鳴らさない 1：軽量で鳴らす 2：適量で鳴らす 3：過量で鳴らす 4：軽量・過量で鳴らす(軽量はピーピー、過量はビビビビ)
04	判定ランプ (DP-6302IIWP用パラメータ)	0	0：安定状態にかかわらず判定ランプを点灯させる 1：安定時のみ判定ランプを点灯させる
05	適量時の自動加算 (DP-6302IIWP用パラメータ)	0	0：判定に関係なく加算する 1：適量時のみ加算する
06	自動加算時の手動加算 (DP-6302IIWP用パラメータ)	0	0：加算キーは無効とする 1：加算キーは有効とする
07	加算機能 (DP-6302IIWP用パラメータ)	0	0：加算する 1：加算しない(但しオプション通信時は加算機能有効)
08	印字内容 (オプション無線プリンタ用パラメータ)	0	0：印字しない 1：正味量(水引後質量)を印字する 2：総量、風袋量、正味量(水引後質量)を印字する 3：正味量(水引前質量)、水引率、正味量(水引後質量)を印字する
10	日付/時刻の印字 (オプション無線プリンタ用パラメータ)	2	0：印字しない 1：時刻を印字する 2：日付を印字する 3：日付と時刻を印字する
11	計量毎の紙送り量 (オプション無線プリンタ用パラメータ)	0	0：紙送りなし 1~20：設定値(行数)を紙送り
12	合計質量印字後の紙送り量 (オプション無線プリンタ用パラメータ)	6	0：紙送りなし 1~20：設定値(行数)を紙送り
13	通信モード (オプション機能用パラメータ)	0	0：なし 1：受信時に動作する 2：加算時に送信する 3：安定状態変化毎に送信する 4：100ms毎に送信する
14	通信速度 (オプション機能用パラメータ)	5	0：9600bps 4：4800bps 1：9600bps 5：9600bps 2：1200bps 6：19200bps 3：2400bps
15	通信パリティ (オプション通信用パラメータ)	0	0：パリティなし 1：偶数パリティ
16	通信プロトコル (オプション通信用パラメータ)	1	0：DP-6301モード 1：Bluetooth™無線通信、ZBee無線通信、RS232C出力、USBメモリ 2：設定禁止 3：Bluetooth™無線プリンタ
17	CRの付加 (オプション機能用パラメータ)	1	0：最後にCRを付けない 1：最後にCRを付ける

番号	名 称	出荷時設定	設定値：機能説明
18	通信内容1 (オプション通信用パラメータ) ※設定値を加算して入力します 例) 時刻と日付を通信=1+2=3	12 (4+8)	000：なし 008：正味量 (NW) 001：時刻 (DJ) 016：風袋量 (TW) 002：日付 (DT) 032：総量 (GW) 004：品種番号 (CD) 128：上下限値 (LH,LL)
19	通信内容2 (オプション通信用パラメータ)	0	0：なし 1：状態フラグ (ST)
20	CTSのチェック (オプション通信用パラメータ)	0	0：CTSチェックしない 1：CTSチェックする
21	通信オプション (オプション機能用パラメータ)	0	0：RS232C出力 1：USBメモリ 2：Bluetooth™無線プリンタ、Bluetooth™無線通信 3：ZBee無線通信
22	配合機能の質量送信 (オプション機能用パラメータ)	0	0：配合後の質量のみを送信する 1：材料毎の質量を送信する 2：材料毎の質量と配合後の質量を送信する
30	通信エラーの表示 (オプション機能用パラメータ)	0	0：通信エラーを表示しない 1：通信エラーを表示する
32	はかりID (オプション機能用パラメータ)	0	0~99：設定値をはかりIDとして登録する
35	ELバックライト点灯の制御	0	00：点灯しない 01：零点時に点灯する 28：常に点灯する 36：零点時以外で点灯する 41：不安定時に点灯する (安定後5秒で消灯)
36	判別ブザー音の鼓動時間 (DP-6302IWP用パラメータ)	0	0~15：設定値 (秒) 判別ブザーを鳴らす
37	印字文字/CSVファイル 記載文字 (オプション機能用パラメータ)	0	0：漢字 1：英語
38	電源オン時の表示固定モード (DP-6302IIDX用パラメータ)	0	0：電源オン時は表示固定モードにしない 1：電源オン時は表示固定モードにする
39	コード入力 (オプション機能用パラメータ)	0	0：コード入力なし 1：コード入力あり
40	マルチファンクション機能 (DP-6302IWP用パラメータ)	0	0：チェック 2：定量計量 4：設定禁止 1：ランク選別 3：配合計量
41	地区補正/重力加速度 (無検定用パラメータ)	—	000：地区補正/重力補正しない 001~029：設定禁止 030~200：使用地域別の設定値入力 ※P.36参照
42	水引計算の上限値 (DP-6302IIDX用パラメータ)	0	0：機能なし 1~6000：設定値 (目量) を超える水引量は設定値にて定量引き
43	計量結果記憶件数 (オプションUSBメモリ用パラメータ)	0	0：記憶しない 1：通常計量時・正味量のみ (最大1000件) 2：通常計量時・正味量及び風袋量 (最大500件) 3：チェック計量時 (最大680件) 4：定量計量時 (最大680件) 5：ランク選別時 (最大1000件) 6：配合計量時 (最大400件)
44	定量計量時の自動風袋引き (DP-6302IWP用パラメータ)	0	0：自動風袋引きしない 1：最初の荷重を風袋物として自動風袋引きする

番号	名 称	出荷時設定	設定値：機能説明
66	ワンタイム加算 (DP-6302IWP用パラメータ)	1	0：同じ質量で何度でも加算可能とする 1：一回のみ加算可能とする（ワンタイム加算） 2：安定に関係なく加算可能とする（無検定品のみ有効）
67	遅延加算 (DP-6302IWP用パラメータ)	0	00：遅延加算しない 01～50：加算可能状態を検出して設定値(100ms)後に自動加算する
68	ゼロ加算 (DP-6302IWP用パラメータ)	0	0：表示が0kgのときは加算しない 1：表示が0kgでも加算する
69	自動加算のタイミング (モーションディテクション) (DP-6302IWP用パラメータ)	0	0：ゼロ付近通過後に加算(手動は非安定から安定で加算) 1：非安定から安定で加算(手動も同じ) 2：ゼロ付近通過後に加算(手動も同じ)
75	風袋引きの自動解除	0	0：自動解除しない 1：総量4目量以下で風袋引きを自動解除する
80	ACアダプタ使用時の自動電源オン (オプションACアダプタ用パラメータ)	0	0：自動電源オンしない 1：通電開始時に電源をオンする
82	手動加算/自動加算 (DP-6302IWP用パラメータ)	0	0：手動加算 1：自動加算

## 5. 加算機能について (DP-6302 II WPのみ)

### 5-1. 加算のしかた

《例》19kgの計量物を加算する場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	計量物をはかりに載せてください。 ※表示部には計量物の質量（19kg）を表示します。	
②	安定サインが点灯したら  を押します。 「ピッ」というブザー音とともに画面に加算中サインが点灯し、質量値が加算されます。	
③	パラメータ番号#40を1~8（単位：秒）に設定すると、加算時に設定した秒だけ、質量値が加算されたことを示す「SEnd」が表示されます。	

注意1) 加算中は、自動的に電源オフする「オートオフ機能」は有効になりません。

注意2) はかりの電源をオフすると合計質量と合計回数は消去されますので、ご注意ください。

注意3) 合計質量が999999.99kgを超えた場合、または合計回数が9999回を超えた場合、加算できなくなりますので (E-102、E-103が表示されます)、それまでに合計質量をリセットしてください。

### 5-2. 加算に関するユーザパラメータ

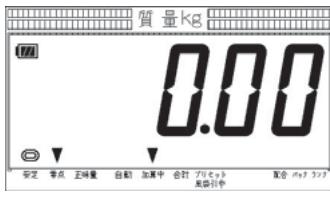
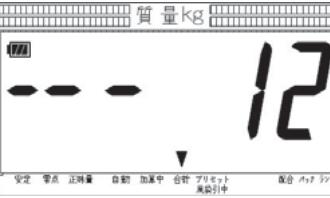
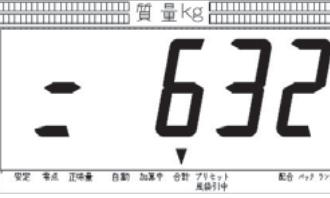
番号	名 称	出荷時設定	設 定 値 : 機能説明
01	加算時の"SEnd"表示	1	0 : "SEnd"表示をしない 1~8 : 加算時に設定値(秒)の間"SEnd"を表示する
06	自動加算時の手動加算	0	0 : 加算キーは無効とする 1 : 加算キーは有効とする
07	加算機能	0	0 : 加算する 1 : 加算しない(但しオプション通信時は加算機能有効)
66	ワンタイム加算	1	0 : 同じ質量で何度も加算可能する 1 : 一回のみ加算可能とする(ワンタイム加算) 2 : 安定に関係なく加算可能とする(無検定品のみ有効)
67	遅延加算	0	00 : 遅延加算しない 01~50 : 加算可能状態を検出して設定値(100ms)後に自動加算する
68	ゼロ加算	0	0 : 表示が0kgのときは加算しない 1 : 表示が0kgでも加算する
69	自動加算のタイミング (モーションディテクション)	0	0 : ゼロ付近通過後に加算(手動は非安定から安定で加算) 1 : 非安定から安定で加算(手動も同じ) 2 : ゼロ付近通過後に加算(手動も同じ)
82	手動加算/自動加算	0	0 : 手動加算 1 : 自動加算

## 5-3. 加算の取り消しかた

《例》19kgの計量物を加算後、加算を取り消す場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	加算を取り消したい計量物を再びはかりに載せ、  と  を押してください。  「ピッ」というブザー音とともに加算した質量値 19kgは合計質量から取り消されます。	

## 5-4. 加算した合計質量と加算回数の確認のしかた

	操作 説 明	表 示 内 容
①	はかりに計量物を載せず、零点表示にしてください。	
②	 を押してください。小数点2桁を含む、 合計質量の下5桁（例題画面は「345.67kg」）が 表示されます。	
③	 を押してください。合計質量の上2桁 （例題画面は「12」）が表示されます。  ※例題画面の合計質量は、12345.67kgとなります。	
④	 を押してください。加算した合計回数が表 示されます。 ※例題画面の合計回数は、632回となります。   を押すと、質量表示に戻ります。	

## 5-5. 合計質量・合計回数のリセットのしかた

	操作 説 明	表 示 内 容
①	合計質量表示中に  を2秒以上押してください。  加算中サインが消灯し、合計質量と合計回数がリ セットされ、零点表示に戻ります。	

## 6. マルチファンクション機能について (DP-6302 II WPのみ)

### 6-1. マルチファンクション機能について

マルチファンクション機能とは、よりスピーディーに正確な計量作業をサポートするための機能です。

#### I. チェック機能

用 途	チェック作業
計量方式	上下限値を設定し、品物の軽量・適量・過量を判別します。
メリット	品物が適量かどうか一目でわかります。
設定値	①適量範囲の下限値 ②適量範囲の上限値
最大品種登録数	99品種



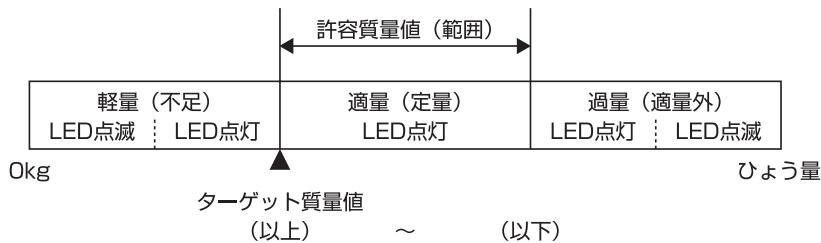
#### II. ランク選別機能

用 途	ランク選別作業
計量方式	あらかじめ、各ランクに相当する質量範囲をはかりに記憶させ、記憶した値に基づいてランクを表示します。
メリット	品物のランクが一目瞭然となり、作業ミスを予防します。
設定値	①ランクの下限値 ②最終ランクの上限値
最大品種登録数	7品種 (最大15ランク/1品種)



### III. 定量計量機能

用 途	定量詰め作業
計量方式	ターゲット質量値をはかりに記憶させ、その値をマイナス表示します。 例) ターゲット質量値=10kgの場合、表示には-10kgと表示します。
メリット	品物の投入量が一目瞭然となり、作業ミスを予防します。
設定値	①ターゲット質量値 ②許容質量値
最大品種登録数	99品種



### IV. 配合計量機能

用 途	配合計量作業
計量方式	あらかじめ、配合する材料ごとの投入質量値をはかりに記憶させ、記憶した質量値をもとに作業者が配合を行います。
メリット	材料投入量のミスを予防します。
設定値	①材料ごとの投入量 ②材料ごとの許容量
最大品種登録数	7品種（最大15材料/1品種）



## 7. マルチファンクション機能の使いかた (DP-6302ⅡWPのみ)

### 7-1. マルチファンクション機能の選択方法

	操作説明	表示内容
①	零点表示中に  と  を同時に押してパラメータモードのタイトル画面を呼び出します。 タイトル画面が表示されましたら、 を押してください。	
②	パラメータ番号40（マルチファンクション機能）が表示されますので、 を押してください。	
③	設定値が点滅しますので、 と  で使用するマルチファンクションの番号を設定してください。	
④	設定値入力後、 を押してください。 設定値変更が完了し、次のパラメータ番号に進みます。	
⑤	設定変更が終わりましたら、 を押し続けて電源を切ってください。以上で、設定変更が完了となります。	

### 7-2. マルチファンクション機能に関するユーザパラメータ

番号	名称	出荷時設定	設定値：機能説明
03	判別ブザー音	0	0：鳴らさない 1：軽量で鳴らす 2：適量で鳴らす 3：過量で鳴らす 4：軽量・過量で鳴らす(軽量はピーピー、過量はビビビビ)
04	判定ランプ	0	0：安定状態にかかわらず判定ランプを点灯させる 1：安定時のみ判定ランプを点灯させる
05	適量時の自動加算	0	0：判定に関係なく加算する 1：適量時のみ加算する
36	判別ブザー音の鼓動時間	0	0~15：設定値(秒) 判別ブザーを鳴らす
40	マルチファンクション機能	0	0：チェック 1：ランク選別 2：定量計量 3：配合計量
44	定量計量時の自動風袋引き	0	0：自動風袋引きしない 1：最初の荷重を風袋物として自動風袋引きする

## 7-3. マルチファンクション機能の使いかた

### I. チェック機能

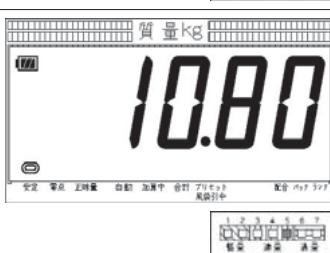
#### (a) 設定のしかた

〔例〕品種番号2を選択し、10kgから11kgを適量範囲に設定する場合

	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#40を「0」に設定してください。	
②	零点表示中に(設定)を押してください。 チェック計量を示す「CHK」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。	
③	品種番号を「2」に設定してください。 △ : 品種番号を「+1」します ▽ : 品種番号を「-1」します 品種番号設定後、(設定)を押してください。	
④	軽量の判定用ランプが点灯し、適量範囲の下限値を設定する画面に移ります。 適量範囲の下限値を「10. 00」に設定してください。 ◀ : 下限値の桁を左へ移動します △ : 下限値を「+1」します ▽ : 下限値を「-1」します 下限値設定後、(設定)を押してください。	
⑤	過量の判定用ランプが点灯し、適量範囲の上限値を設定する画面に移ります。 適量範囲の上限値を「11. 00」に設定してください。 上限値設定後、(設定)を押してください。	
⑥	品種番号2に設定したデータが登録され、設定完了です。 チェック機能を使った作業を行うことができます。	

(b) 計量のしかた

〔例〕適量範囲を10kg～11kgとして作業をおこなう場合

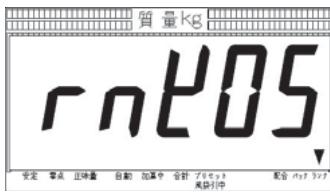
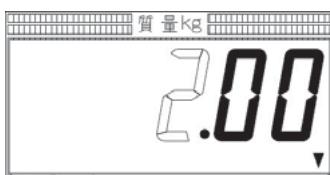
	操作説明	表示内容
①	一度、品種設定を行っている場合、その品種番号表示中に  を押すことで、すぐに計量が開始されます。	
②	はかりに品物を載せていきます。 ターゲット質量値に満たない場合、“軽量”の判定用ランプが点灯します。	
③	ターゲット質量値まで品物を載せると、“適量”の判定用ランプが点灯します。	
④	ターゲット質量値を超えた場合、“過量”の判定用ランプが点灯します。	

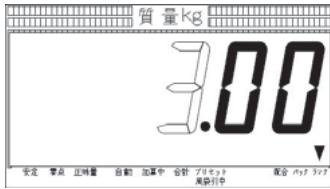
注意) チェッカ機能使用時にパラメータ番号#82を自動加算に設定した場合、加算は安定を検出した時点で行われます。

## II. ランク選別機能 注意) ランク選別機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

### (a) 設定のしかた

《例》品種番号5を選択し、ランク1を1kg以上2kg未満、ランク2を2kg以上3kg未満に設定する場合

	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ番号40を「1」に設定しておいてください。	
②	零点表示中に <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">設定</span> を押してください。 ランク選別計量を示す「rnk」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。	
③	品種番号を「5」に設定してください。 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">▲</span> : 品種番号を「+1」します <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">▼</span> : 品種番号を「-1」します 品種番号設定後、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">設定</span> を押してください。 ランク1を選択する画面に移ります。	
④	画面に「r01」と表示された後、ランク1の設定画面が表示されます。ランク1の下限値を「1kg」に設定してください。 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">◀</span> : 下限値の桁を左へ移動します <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">▲</span> : 下限値を「+1」します <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">▼</span> : 下限値を「-1」します ランク1設定後、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">設定</span> を押してください。ランク2を選択する画面に移ります。 ※ランク1で設定した値未満の計量物をはかった場合、判定は「ランク外」となります。	 ↓ 
⑤	画面に「r02」と表示された後、ランク2の設定画面が表示されます。ランク2の下限値を「2kg」に設定してください。 ランク2設定後、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">設定</span> を押してください。 ランク3を選択する画面に移ります。	

	操作説明	表示内容
⑥	<p>画面に「r03」と表示された後、ランク3の設定画面が表示されます。ランク3の下限値を「3kg」に設定してください。</p> <p>設定後、を押してください。</p> <p>※1) ランクは最大15ランクまで行えますが、その前に設定を完了する場合、ではなくを押します。</p> <p>※2) 最後に設定したランクの上は存在しません。この場合、3kg以上の計量物をはかると、ランク4ではなく「ランク外」と判定されます。</p>	
⑦	<p>品種番号5に設定したデータが登録され、設定完了です。</p> <p>ランク選別機能を使った作業を行うことができます。</p>	(ランク選別時の画面構成) 

### (b) 計量のしかた

《例》ランク1を1kg以上2kg未満、ランク2を2kg以上3kg未満として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	一度、品種設定を行っている場合、その品種番号表示中に  を押すことで、すぐに計量が開始されます。	
②	はかりに品物を載せると、品物の質量ランク番号で表示します。 例) ランク2の範囲が2kg以上3kg未満で質量が2.5kgの品物を載せた場合、「2」と表示します。	
③	品物の質量が設定ランクよりも軽い場合（この場合は1kg未満）、アンダーバーが表示され、ランク表示されません。	
④	品物の質量が設定ランクよりも重い場合（この場合は3kg以上）、オーバーバーが表示され、ランク表示されません。	

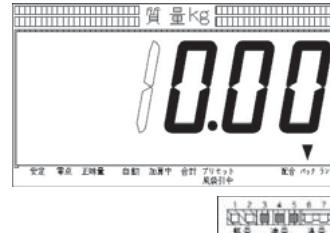
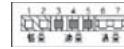
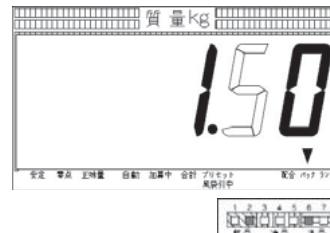
注意) ランク選別機能使用時にパラメータ番号#82を自動加算に設定した場合、加算は安定を検出した時点で行われます。

### III. 定量計量機能

注意) 定量計量機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

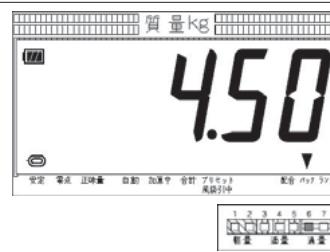
#### (a) 設定のしかた

《例》品種番号3を選択し、ターゲット質量値を10kg、許容質量値+1.5kgに設定する場合

	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ#40を「2」に設定してください。	
②	零点表示中に  を押してください。 定量計量を示す「PAC」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。	
③	品種番号を「3」に設定してください。  : 品種番号を「+1」します  : 品種番号を「-1」します 品種番号設定後、  を押してください。	
④	適量の判定用ランプが点灯し、ターゲット質量値を設定する画面が表示されます。 ターゲット質量値を「10.00」に設定してください。  : 設定質量値の桁を左へ移動します  : 設定質量値を「+1」します  : 設定質量値を「-1」します ターゲット質量値設定後、  を押してください。	 
⑤	軽量と過量の判定用ランプが点灯し、許容質量値を設定する画面が表示されます。 許容質量値を「1.50」に設定してください。 許容質量値設定後、  を押してください。	 
⑥	品種番号3に設定したデータが登録され、設定完了です。 定量計量機能を使った作業を行うことができます。	

(b) 計量のしかた

《例》ターゲット質量値を10kg、許容質量値+1.5kgとして作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	一度、品種設定を行っている場合、その品種番号表示中に  を押すことで、すぐに計量が開始されます。	
②	はかりに品物を載せていきます。 ターゲット質量値に満たない場合、“軽量”の判定用ランプが点灯します。 例) ターゲット質量値10kgで8kgまで品物を載せた場合、「-2.00」と表示します。	
③	ターゲット質量値まで品物を載せると、0.00と表示し、“適量”の判定用ランプが点灯します。 例) ターゲット質量値10kgで10kgちょうどの品物を載せた場合、「0.00」と表示します。	
④	ターゲット質量値を超えた場合、“過量”の判定用ランプが点灯します。 例) ターゲット質量値10kg、許容質量値1.5kgで14.5kgまで品物を載せた場合、「4.50」と表示します。	

注意) 定量計量機能使用時にパラメータ番号#82を自動加算に設定した場合、加算は品物を取り除いたときに行われます。

その際、取り除く直前に安定を確認した質量値が加算されます。

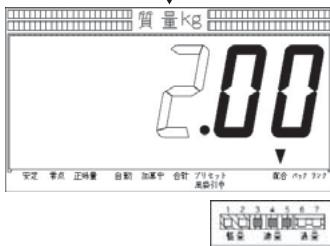
## IV. 配合計量機能

注意) 配合計量機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

### (a) 設定のしかた

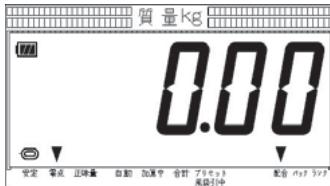
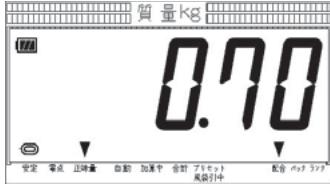
【例】品種番号4を選択し、材料1を3kg(許容値+0.3kg)、材料2を2kg(許容値+0.3kg)に設定する場合

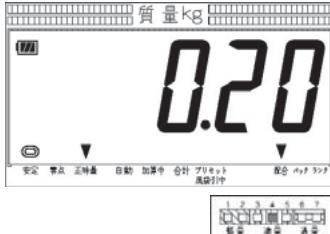
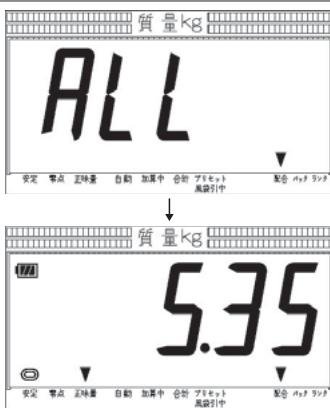
	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ番号40を「3」に設定しておいてください。	
②	零点表示中に  を押してください。 配合計量機能を示す「MIX」が表示され、下二桁に品種番号が表示されます。	
③	品種番号を「4」に設定してください。 : 品種番号を「+1」します : 品種番号を「-1」します 品種番号設定後、 を押してください。 材料1を選択する画面に移ります。	
④	画面に「M01」と表示された後、適量の判定用ランプが点灯し、材料1のターゲット質量値を設定する画面が表示されます。 ターゲット質量値を「3.00」に設定してください。 : 下限値の桁を左へ移動します : 下限値を「+1」します : 下限値を「-1」します ターゲット質量値設定後、 を押してください。	
⑤	軽量と過量の判定用ランプが点灯し、材料1の許容質量値を設定する画面が表示されます。 許容質量値を「0.30」に設定してください。 許容質量値設定後、 を押してください。	

	操作説明	表示内容
⑥	<p>画面に「M02」と表示された後、適量の判定用ランプが点灯し、材料2のターゲット質量値を設定する画面が表示されます。</p> <p>材料1と同様の手順でターゲット質量値を「2.00」、許容値を「0.30」に設定してください。</p> <p>設定後、を押してください。</p> <p>※1) 材料設定は最大15材料まで行えますが、その前に設定を完了する場合、ではなくを押します。</p>	 
⑦	<p>品種番号4に設定したデータが登録され、設定完了です。</p> <p>配合計量機能を使った作業を行うことができます。</p>	

### (b) 計量のしかた

《例》品種番号4を選択し、材料1を3kg(許容値+0.3kg)、材料2を2kg(許容値+0.3kg)として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	<p>一度、品種設定を行っている場合、その品種番号表示中にを押することで、すぐに計量が開始されます。</p>	
②	<p>まず、容器の風袋を引きます。</p> <p>はかりに容器を載せ、を押してください。</p>	
③	<p>風袋を引いたら、画面に「M01」と表示された後、材料1の計量画面（ターゲット質量までのマイナス表示画面となります）が表示されますので、材料1を容器に入れてください。</p> <p>※ターゲット質量値に満たない場合、“軽量”的判定用ランプが点灯し、ターゲット質量値を超えた場合、“過量”的判定用ランプが点灯します。</p>	 

	操作 説 明	表 示 内 容
④	<p>ターゲット質量値まで品物を載せると、表示がマイナス表示からプラス表示に変わるとともに、許容質量値内であれば“適量”の判定用ランプが点灯します。</p> <p>適量範囲内であれば、(風袋) を押してください。</p> <p>例) ターゲット質量値3kgで3.2kgまで品物を載せた場合、プラス「0.20」と表示します。</p>	
⑤	<p>次に、画面に「M02」と表示された後、材料2の計量画面が表示されますので、材料1と同様に計量を行い、最後に(風袋) を押してください。</p>	
⑥	<p>設定した材料分の計量が終わりましたら、画面に「ALL」と表示された後、今まで計量した材料の総量が表示され、計量は完了となります。</p> <p>注意) 配合計量機能使用時、加算は自動加算／手動加算を問わず最後に(風袋) を押したときに行われます。</p>	

#### 7-4. マルチファンクション機能から質量表示に戻す場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	零点表示中に(零点リセット) と(設定) を同時に押してパラメータモードのタイトル画面を呼び出します。	
②	パラメータモードのタイトル画面表示中に(零点リセット) を押すと、質量表示に戻ります。	

## 8. 表示固定機能について (DP-6302Ⅱ DXのみ)

### 8-1. 表示固定のしかた

《例》 12kgの計量物を表示固定する場合

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>▼ 表示固定 を押してください。</p> <p>表示固定モードサインが点灯します。</p>	
②	<p>計量物をはかりに載せてください。 安定後、表示固定中サインが点灯し、質量が表示固定されます。</p> <p>注) 計量物がはかりに載っている間は表示固定され たままとなります。違う計量物を測定したい場 合は、はかりから計量物を取り除いてください。</p>	

### 8-2. 表示固定の取り消しかた

	操作 説 明	表 示 内 容
①	<p>はかりから計量物を取り除き ▼ 表示固定 を押してください。</p> <p>表示固定モードサインが消灯し、表示固定が解除されます。</p>	

注意) 電源オン時の表示固定モードの有無は、ユーザパラメータ#38にて選択してください。

#### 【#38】電源オン時の表示固定モード

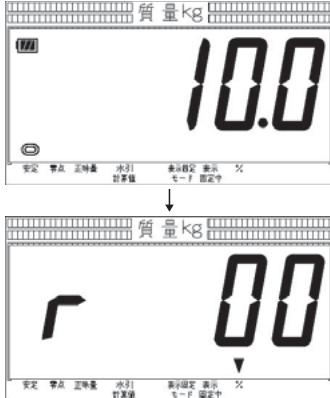
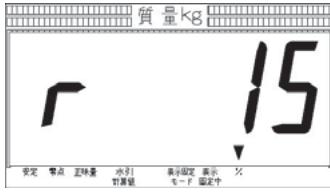
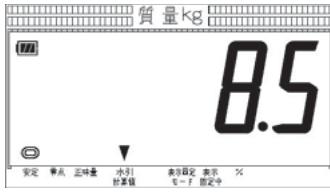
0：電源オン時は表示固定モードにしない

1：電源オン時は表示固定モードにする（出荷時設定）

## 9. 水引計算機能について (DP-6302Ⅱ DXのみ)

### 9-1. 水引率の設定のしかた (注意) 水引機能は、取引証明用にはお使いいただけません。

《例》水引率を15%に設定する場合

	操作説明	表示内容
①	<p>はかりに計量物を載せてください。</p> <p>はかりが安定したら、  を押してください。</p> <p>水引率設定画面が表示されます。</p>	
②	<p>水引率を設定してください。</p> <p> : 水引率を「+1」します</p> <p> : 水引率を「-1」します</p> <p>注) 2秒間、キー操作が行われなかった場合、自動的に水引計算値表示画面へ進みます（水引率0%のとき以外）。</p>	
③	<p>設定完了後、  を押してください。</p> <p>質量から水引率分を引いた“水引計算値”が表示されます。</p>	
④	<p>(質量表示に戻す場合)</p> <p>再び質量表示に戻すには、  を押してください。</p> <p>尚、すでに水引率が設定されている場合、質量表示中に  を押すと、水引設定画面に入らずに水引計算値を表示することができます。</p>	

## 10. 取引証明以外用について

### 10-1. 取引証明以外用

DP-6302 II シリーズ（取引証明以外用＝無検定品）を初めてご使用になる場合、使用地域別に重力加速度を補正する必要があります。補正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、必ず下記の「使用地域別の重力加速度補正について」をよくお読みいただき、重力加速度補正を行ってから計量を始めてください。

### 10-2. 取引証明以外用のユーザパラメータについて

DP-6302 II シリーズ（取引証明以外用）には、使用地区補正およびユーザによる分銅校正が可能です。

ユーザパラメータ表をよくご覧になり、設定してご使用ください。

#### 【ユーザパラメータ#41】 地区補正／重力加速度

DP-6302 II シリーズ（取引証明以外用）には、使用地区補正機能が搭載されています。

パラメータ番号#41の地区補正／重力加速度をご使用地域に応じた設定値に変更してください。

番号	名称	設定値：機能説明
#41	地区補正／重力加速度	000 : 地区補正／重力補正しない 001～029 : 設定禁止 030～210 : (重力加速度 (m/s) - 9.7600) × 10000 ÷ 5 + オフセット分 (30) 設定範囲 : 9.7600～9.8500m/s <sup>2</sup> 最小設定単位 : 0.0005m/s <sup>2</sup>

### 10-3. 使用地域別の重力加速度補正について

使用地域別に重力加速度を補正する場合は、以下の方法で補正をおこなってください。

使用地域別の重力加速度については次ページの「使用地域別の設定値」を参照してください。

- ・次回使用するときからは使用地域別の重力加速度補正是必要ありませんので、電源を入れてそのままご使用ください。
- ・一度重力加速度補正を行ったばかりを設定値が異なる地域で使用する場合、再度使用地域に対応した重力加速度の補正が必要になります。

## 使用地域別の設定値

地域名	都道府県	重力加速度の範囲 (m/s <sup>2</sup> )	#41の設定値
道北・道東地方 (十勝地方を除く)	道北地方 (宗谷・上川・留萌) 道東地方 (網走・根室・釧路)	9.804～9.807	121
道央・道南・十勝地方	道央 (石狩・後志・空知) 道南 (檜山・胆振・日高・渡島) 十勝地方	9.803～9.806	119
東北地方	青森県、岩手県 宮城県、秋田県 山形県、宮城県 福島県	9.801～9.804 9.800～9.803 9.799～9.802 9.798～9.801	115 113 111 109
関東甲信越地方	新潟県、茨城県 栃木県 千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、 埼玉県、東京都 (八丈支庁・小笠原支庁を除く) 長野県 東京都 (八丈支庁・小笠原支庁に限る)	9.798～9.801 9.797～9.800 9.796～9.799 9.795～9.798 9.794～9.796	109 107 105 103 100
北陸地方	福井県、富山県、石川県	9.797～9.800	107
東海・近畿・中国地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県 (東海4県) 大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、 京都府、兵庫県 (近畿2府4県) 山口県、岡山県、鳥取県、広島県、 島根県 (中国5県)	9.796～9.799	105
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795～9.797	102
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、 宮崎県、大分県、鹿児島県 (薩摩・ 大隅地方に限る) 鹿児島県 (薩摩・大隅地方を除く)	9.794～9.797 9.791～9.794	101 95
沖縄地方	沖縄県	9.789～9.792	91

上記の内容についてご不明な点がありましたら、弊社に問い合わせてください。

参考) 国土地理院のホームページ (<http://www.gsi.go.jp>) に、地域別の重力加速度について説明がありますのでご参照ください。

## 使用地域別の補正例

〔例〕福井県・富山県・石川県(北陸地方)ではかりを使用する場合の補正方法について説明します。  
(ユーザパラメータ#41の設定値を105から107に変更することで補正します。)

	操作説明	表示内容
①	零点表示中に  と  を同時に押してパラメータモードのタイトル画面を呼び出します。 タイトル画面が表示されましたら、 を押してください。	
②	パラメータ番号#40が表示されます。 パラメータ番号が点滅している状態で、 を押してください。	
③	パラメータ番号#41が表示されますので、 を押して設定値の入力へ移ってください。	
④	と  で設定値を「107」に合わせ、 を押してください。	
⑤	パラメータ番号#42が表示され、設定値は変更されます。	
⑥	以上が終わりましたら、 を押し続けて電源を切ってください。設定変更が完了となります。	

## 10-4. 分銅校正方法について

DP-6302Ⅱシリーズ（取引証明以外用）は、お客様自身による分銅校正（使用前の校正）が可能です。

分銅校正を行わなかった場合、正しい計量ができない場合がありますので、定期的に分銅校正を行うことをおすすめします。また、分銅校正を行う場合、「2級基準分銅」以上の精度の分銅をご用意のうえ、下記の手順にしたがって分銅校正を行ってください。

※ 校正を行うために使用する分銅は、ひょう量分の分銅をご用意してください。

《例》ひょう量60kgのはかりを使用する場合の分銅校正方法について説明します。

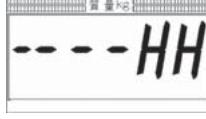
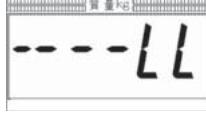
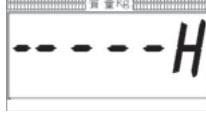
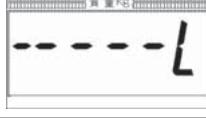
	操作 説 明	表 示 内 容
①	零点表示中に  と  を同時に押してパラメータモードのタイトル画面を呼び出します。 タイトル画面が表示されましたら、 を押してください。	
②	パラメータ番号#40が表示されます。 パラメータ番号が点滅している状態で、 と  を同時に押してください。分銅校正画面に移ります。	
③	載台の上に何も載っていないことを確認してから、 を押します。 ※校正を中止する場合は  を押し続けてください。 通常モードに戻ります。	
④	載台の中央にひょう量の1/2（30kg）の分銅を載せ、 を押します。 ※32kgのはかりの場合は15kgの分銅を載せ、120kgのはかりの場合は60kgの分銅を載せてください。	
⑤	載台の中央にひょう量の（60kg）の分銅を載せ、 を押します。 ※32kgのはかりの場合は30kgの分銅を載せ、120kgのはかりの場合は120kgの分銅を載せてください。	
⑥	以上で分銅校正は完了です。完了後、質量表示に戻りますので、再度、分銅を載せ、分銅の質量と表示が合っているかを確認してください。	

## 11. その他

### 11-1. 表示エラーについて

下記のような表示が出たらエラー表示ですので、対処方法に従って対処してください。下記以外の表示がでた場合や、対処方法通りに対処しても回復しない場合は、お買い上げの販売店までご相談願います。

#### (1) 主なエラーメッセージについて

表示内容	原因	対処方法
電池残量少 	乾電池の残量が少なくなっています。	電池交換の準備をしてください。 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜたりアルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜたりして使用しないでください。
電池切れ 	乾電池の残量が無くなっています。	全て新しい乾電池と交換してください。 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜたりアルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜたりして使用しないでください。
質量計量不能 	質量が一5目量未満になっている場合に表示します。	零点リセットキーを押してください。 また載台カバーを取り外した場合は、再度、載せてください。
質量計量不能 	質量がひょう量+6目量以上の場合に表示します。	計量物を取り除くと質量表示になります。はかりのひょう量内で使用してください。
質量計量不能 	重い物を載せたまま電源オンした場合に表示することがあります。	載皿に何も載せずに電源をオンしてください。
質量計量不能 	はかり本体と載皿の隙間に何か物が詰まっている状態で電源をオンした場合に表示することがあります。	物が詰まっていないことを確認してください。また、他の物が載皿に触れていないことを確認してから零点リセットキーを押してください。
質量計量不能 	はかりの使用中、重たい計量物を載せて零点リセットキーを押した場合に表示することがあります。	零点リセットできる範囲を超えていません。載せた計量物を取り除いて零点リセットキーを押してください。
質量計量不能 	載皿に何か載せたままで電源オンし、その後取り除いてキーを押した場合に表示することがあります。	載皿に何も載せずに電源をオンしてください。

## (2) エラーコード一覧表

コード番号	詳 細	対処方法
E-002	加算回数が9999回を超えるました	合計値表示中に零点キーを長押して、加算回数をクリアしてください。
E-003	合計値が999999.99kgを超えた	合計値表示中に零点キーを長押して、合計値をクリアしてください。
E-006	CTSが2秒以内にアクティブな状態になっていません	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-007	フレーミングエラーが発生しました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-008	パリティエラーが発生しました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-009	オーバーランエラーが発生しました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-010	認識できない指令を受信しました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-011	認識できないヘッダーを受信しました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-012	使用範囲外の数値を受信しました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-013	単位が一致していません	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-014	BCCが一致していません	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-016	はかりが安定していない状態で指令コマンドを送っています	はかりの安定マークが点灯しているか確認してから、指令コマンドを送ってください。
E-019	零点調整ができない範囲で零点指令のコマンドを送っています	はかりの上の計量物を取り除いてから、指令コマンドを送ってください。
E-020	風袋引きができない範囲で風袋引き指令のコマンドを送っています	風袋物の質量が使用範囲内であるか確認してから、指令コマンドを送ってください。
E-021	加算禁止状態で加算指令のコマンドを送っています	計量物を取り除いて零点状態にしてから、計量及び加算指令のコマンドを送ってください。
E-022	未定義のZSコマンドが送られてきました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-023	不正なパラメータ番号が送られてきました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-024	不正なパラメータフォーマットが送られてきました	別紙通信に関する取扱説明書にて設定値を確認してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-025	送信データが長すぎます	ユーザパラメータ#18の通信内容を減らしてください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-027	風袋引き中に零点指令のコマンドを送っています	風袋引きを解除してから、指令コマンドを送ってください。
E-028	USBメモリエラー	記憶しているデータをUSBメモリへ書き込んでください。書き込みが行えない場合は、USBメモリを交換してください。
E-102	E2PROMへの書き込みエラーが発生しました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。

コード番号	詳 細	対処方法
E-109	E2PROMへの書き込みエラーが発生しました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-116	E2PROMへの書き込みエラーが発生しました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-200	不正なソフトウェア割り込みが発生しました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-201	不正なソフトウェア割り込みが発生しました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-202	不正なキー処理が行われました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。
E-203	不正なソフトウェアの呼び出しが発生しました	電源をオフし、再び電源をオンしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。

## 11-2. オプション機能について

DP-6302Ⅱシリーズには、次のオプション機能を準備しています。

オプション機能に関するお問い合わせは、本製品をご購入された販売店または弊社までご連絡願います。

注意) 工場出荷オプション機能を追加する場合、はかりを販売店もしくは弊社まで発送していただき、検定品に関しては修理検定を受けていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。

	オプション名	機能説明
①	専用ACアダプタ	AC電源（100V）から、はかりへの電力供給ができます。 ※ACアダプタ接続時は非防水となります。
②	無線通信ユニット（ZBee、Bluetooth™） (工場出荷オプション)	弊社専用ソフトを利用して、はかりとパソコンをワイヤレスで通信し、計量データを管理することができます。
③	無線プリンタ (Bluetooth™無線通信ユニット付き) (工場出荷オプション)	弊社指定のプリンタと接続し、計量データをワイヤレスで印字することができます。
④	RS232C出力 (工場出荷オプション)	RS232C出力ケーブルを介してはかりとパソコンを接続し、計量データをパソコンへ取り込むことができます。
⑤	USBメモリ (工場出荷オプション)	USBメモリを介して、計量データをCSV形式のファイルでパソコンへ出力することができます。

### 11-3. 仕様書

■製品の外観・仕様については、改良のため予告なしに変更することがあります。

1. 品名 (型式) DP-6302 II
2. 計量方式 電気抵抗線式
3. 載台寸法 W350mm×D500mm
4. ひょう量系列

□DP-6302 II WP (検定品) 精度 1/3200もしくは1/3000

ひょう量	目量	最小測定量	最大減算式風袋量
32kg	0.01kg (0~32kg)	0.2kg	32kg
60kg	0.02kg (0~60kg)	0.4kg	60kg
150kg	0.05kg (0~150kg)	1kg	150kg

□DP-6302 II DX (検定品) 精度 1/1500

ひょう量	目量	最小測定量	最大減算式風袋量
150kg	0.1kg (0~150kg)	2kg	150kg

□DP-6302 II WP (無検定品) 表示精度 1/6400もしくは1/6000、保証精度 1/3200もしくは1/3000

ひょう量	目量	最小測定量	最大減算式風袋量
32kg	0.005kg (0~32kg)	0.1kg	32kg
60kg	0.01kg (0~60kg)	0.2kg	60kg
120kg	0.02kg (0~120kg)	0.4kg	120kg

#### 5. 表示部

表示管 液晶表示管 (7セグメントタイプ)

判定用ランプ (赤7個 ■■■■■■■)

数字サイズ メイン表示部: W20mm×H48mm

表示内容 質量表示 : 最大5桁

乾電池残量表示 ( □□ ) : 電池残量サイン (電池残量に応じ □□□ の3段階表示)

安定サイン ( ○ )

: はかりが安定しているときに点灯

零点サイン ( ▼ )

: 零点中に点灯

正味量サイン ( ▼ )

: 風袋引中に点灯

プリセット風袋引きサイン ( ▼ ) : プリセット風袋引き中に点灯

#### 以下DP-6302 II WPのみ

自動サイン ( ▼ ) : 自動加算時に点灯

加算中サイン ( ▼ ) : 加算中に点灯

合計サイン ( ▼ ) : 合計表示中に点灯

定量計量機能サイン ( ▼ ) : 定量計量機能使用中に点灯

ランク選別機能サイン ( ▼ ) : ランク選別機能使用中に点灯

配合計量機能サイン ( ▼ ) : 配合機能使用中に点灯

#### 以下DP-6302 II DXのみ

表示固定中サイン ( ▼ ) : 表示固定中に点灯

表示固定モードサイン ( ▼ ) : 表示固定モード中に点灯

水引計算値サイン ( ▼ ) : 水引計算値表示中に点灯

% サイン ( ▼ ) : 水引率設定中に点灯

## 6. 操作部 (DP-6302 II WP)

-  : 電源ON/OFFキー
-  : 零点リセットキー
-  : 設定キー
-  : 風袋引きキー／桁送りキー
-  : 合計表示キー／デクリメント（入力値-1）キー
-  : 手動加算キー／インクリメント（入力値+1）キー

(DP-6302 II DX)

-  : 電源ON/OFFキー
-  : 風袋引きキー
-  : 設定キー
-  : 水引キー／桁送りキー
-  : 表示固定キー／デクリメント（入力値-1）キー
-  : 零点リセットキー／インクリメント（入力値+1）キー

## 7. 機能

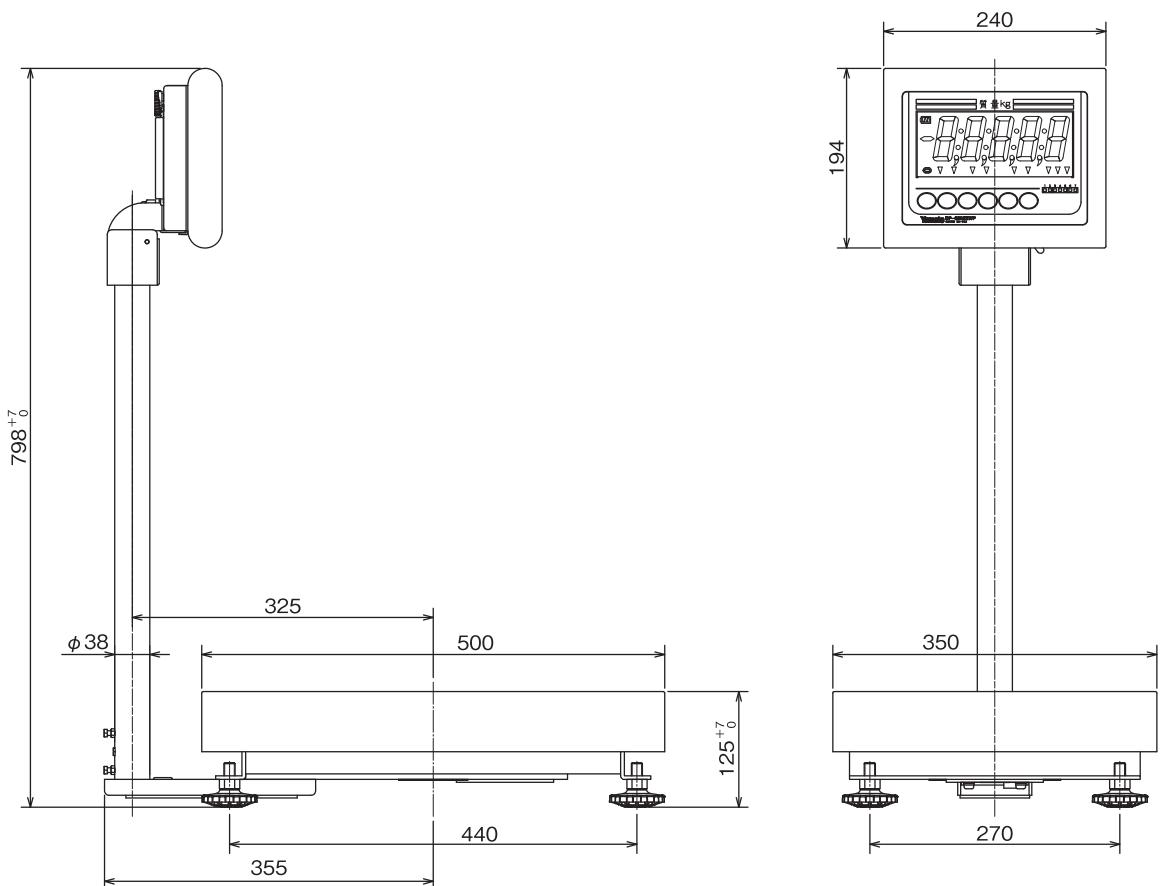
- |                   |  |
|-------------------|--|
| 零点リセット            | : 零点のズレをリセットします。   |
| オートオフ機能           | : 乾電池使用時に安定マークが点灯した状態で設定時間が過ぎると、自動的に電源がオフします。              |
| 風袋引き機能            | : ワンタッチ風袋引きで風袋量を引きます。                                      |
| プリセット風袋引き機能       | : 設定した数値の風袋量を引きます。   |
| 以下DP-6302 II WPのみ |  |
| 加算・合計値表示機能        | : 質量値を加算し、合計値を表示します。                                       |
| マルチファンクション機能      | : チェック機能、ランク選別機能、定量計量機能、配合計量機能の総称で、スピーディーで正確な計量作業をサポートします。 |
| 判定用ランプ機能          | : マルチファンクション使用時に計量状態をランプで知らせます。                            |
| 以下DP-6302 II DXのみ |  |
| 表示固定機能            | : はかりが安定したときに表示値を固定します                                     |
| 水引計算機能            | : 水引率を設定し、水引後の質量値を表示することができます                              |

## 8. 外観

- 寸法：W350mm×D605mm×H798～805mm
- 自重：約20kg（乾電池込み）
- 材質：ステンレス製（SUS304）

9. 防塵・防水保護 : IP68 (但し、ACアダプタ使用時は除く)
10. 電源  
 乾電池 (単一乾電池×4本付属) あるいはACアダプタ (オプション)  
 定格電圧 : DC6V  
 消費電力 : 0.04W  
 電池寿命 : 約2,000時間 (アルカリ乾電池使用時)
11. 使用条件  
 使用温度範囲 : -10°C ~ +40°C  
 使用湿度範囲 : 30% ~ 85. R.H. (結露無きこと)
12. 適用法規  
 日本国計量法新検則 JIS B7611-2 2009 Lレベル (検定品のみ)
13. オプション  
 専用ACアダプタ (ACアダプタ使用時は非防水)  
 無線通信ユニット (ZBee、Bluetooth™) (工場出荷オプション)  
 無線プリンタ (Bluetooth™) (工場出荷オプション)  
 RS232C出力 (工場出荷オプション)  
 USBメモリ (工場出荷オプション)

#### 11-4. 外観寸法図



信頼・技術・創造

# 大和製衡株式会社

本社 営業

T673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号

東日本支店 T105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号

中日本支店 T460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号

千葉営業所 T264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号

九州営業所 T812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-918-6540

浜松町センタービル4階 TEL.03-5776-3123

朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5731

ショーワムズ都賀1階 TEL.043-214-3920

博多エイトビル1階 TEL.092-471-1921